

学校教育目標

「北斗をめざそう ほこりをもって・くじけずに・共に学ぶ北小の子」
具体目標：自ら学ぶ子 明るくたくましい子 思いやりのある子

経営方針「児童一人一人のよさや可能性を見つけ伸ばす教育」 「学ぶ意欲に満ち潤いと活力あふれる学校」の実現

豊かな心の育成（徳育）

- 1 信頼関係に立った積極的な生徒指導
- 2 豊かな心を育む道徳・特別活動の充実
- 3 花と緑に囲まれた学校環境作りと感性豊かな子の育成
- 4 人権意識の高揚（いじめ防止基本方針等）
- 5 特別支援教育の充実
- 6 教育相談の充実

確かな学力の育成（知育）

- 1 基礎学力と思考力・判断力・表現力等確かな学力の向上
- 2 分かる授業・学ぶ楽しさを実感できる授業の創造
- 3 学び合い高め合う学級集団づくり
- 4 言語活動の充実
- 5 読書力や語彙力の向上を図る。
- 6 評価を生かした学習指導の工夫・改善

たくましい体力の育成（体育）

- 1 体育科授業の充実
- 2 目標値の設定と体力つくりの実践
- 3 体育的活動の充実（朝の運動等）
- 4 健康教育の推進（健康増進計画等）
- 5 安全指導・安全教育の徹底
- 6 清潔な教育環境の創造（掃除の徹底）

グループチャレンジ研修の充実

算数・理科における言語力の育成（チャレンジ授業等）
（思考力を高める言語活動の充実を目指して）

本校の課題（全国学力・学習状況調査等から）
自学（自分から進んで課題を見つけて学習する）
・他の考えを読み取り、聞き取り、整理して自分の考えをまとめる。
・算数独特の表現（図・グラフ・表等）を読み取ったり、表したりする。
・推敲したり、検算したりと自分が出した答えを見直す習慣を身につける。

課題研修の充実
「言葉の力を高め、考える力を育成する」
『言語力は人間力、Think・Think・Think』

各教科における言語活動の重点
生きて働く国語の力として、考えを書く活動を積極的に取り入れる社会・見学や体験活動、調査活動を行い、報告書、レポート、パンフレット、新聞等にまとめる力を高める。
・資料から読み取ったことをまとめ、自分の考えを表現する。
算数・筋道を立てて考え、自分の考えを根拠をあげて説明する力を高める。
・数学的な言葉や数学的な表現（表、グラフ、数直線）を使って自分の思考過程を表わす力を高める。
理科・事象・現象から予想や仮説を立て、その理由を書いたり話したりする力を高める。
・科学的な言葉や理科学的な表現（図、表、グラフ、モデル図）を使って概念の習得を図る言語活動の工夫。
音楽・音楽を特徴づける要素を意識させた言語活動の工夫。
図工・色や形が持つイメージを言葉で表す活動の工夫。
家庭・言葉や図表を用いて生活をよりよくする方法を考え、説明する力を高める。
体育・技や技能の習得について、友達と話し合い、学び合いながら向上を図る。
生活科・「見付ける、比べる、たとえば」学習を通して体験したことを表現する力を高める。
総合的な学習の時間・課題解決活動を行い、調査研究したことからレポート等にまとめ、発表する力を高める。
道徳教育
・資料から主人公の気持ちを読み取り、体験活動を通して主体的に道徳的実践力を身につけ、表現する力を育成する。
・自分の考えと友達の意見を比べながら聞く力を高める
特別活動
・自分の考えを発表する力を育成する。
・問題の解決のための話し合いをする力を高める。

分かる・学ぶ楽しさの実感できる授業の創造
＜北小授業プランによる毎日の授業の充実＞
○授業（学習）のめあての提示（毎時間）
○授業（学習）の評価の焦点化（ふりかえり）
○ノート指導の充実
○一人で考える→みんなで考える→再度一人で考える場の設定
○観察・実験・体験的活動・問題解決的学習
○少人数指導、TTの推進
○ゲスト・ティーチャーの活用
＜ユニバーサルデザインの授業の推進＞
○学習の見直し ○板書の構造化 ○学習に集中できる環境整備 ○発問・指示の明確化（視覚・動作）

「言葉の力を高め、考える力を育成する」
1 国語の授業の質的な向上を目指す。
・つきたい力を定着させ考える場を確保する教材の開発
・単元を貫く言語活動を設定して、主体性を育む学習過程と指導法の工夫・改善を行う。
・考える場の設定（一人で考え、みんなで考え、再度一人で考える）
・「書くこと」の系統性を生かした授業を推進する。
・体験活動と「書くこと」の言語活動を統合する指導法を工夫する。
・理解したり、表現したりするための語句を増やし、書き表す力を高める。
・ノート指導の充実を図る。（ノート検定の実施）
2 言葉の力を育てる言語環境の推進
・学校図書館を活用した読書指導の充実
朝の読書 家読（うちどく）10運動
年間読書量の向上運動（年間読書量30冊・100冊・200冊の表彰）・読書推進月間
・ボランティアの協力による読み語り
・市立図書館職員によるブックトーク（全学年）
・家庭や地域への啓発と連携
・学校放送における言語環境の整備
3 言葉の力を育成する国語教室の充実
・音読チャレンジ よい姿勢で明瞭な発音 論語に親しむ
・俳句の時間（隔週）（語彙力の向上）
・国語チャレンジ（年2回）（基礎基本の定着）
・言葉の力検定の実施（年4回）言葉の特徴やきまりに関する事項の定着を図る
・声のものさし、発表の仕方、話し合いの仕方の掲示
☆ねらいを明確にした「交流」の推進と学び合いの成果を実感させる。書く活動を通して「聞くこと話すこと」「読むこと」についての力を高める。

教材研究の徹底・教具の工夫改善

＜基礎学力の定着＞
・国・算チャレンジ（基礎・基本）週間の実施
・言葉の力検定の実施 ・ノート指導とノート検定の実施

＜規律ある態度の育成 家庭・地域との連携＞
・教育に関する3つの達成目標達成
・家庭での時間の使い方（親子でルールを作り、守る）久喜市のルールの定着
・家庭学習の習慣化 家庭学習のすすめの配布 宿題+α（自学）の習慣作り
・学校応援団の充実と活用